

まちづくり計画策定担い手支援事業 応募申請書 (様式1)

○事業主体について

応募団体名	〇〇地区まちづくり協議会
推薦市区町村名	××市
応募団体の運営体制	【団体構成】 構成員 30名(役員)のうち計画素案策定地区内地権者25名 【事務局】(事務所) 有 (職員) 3名のうち常駐職員 2名 【団体会則】 有(作成中の場合は、完成見通し) 【地区との関わり】 〇〇地区まちづくり協議会は、主に区域内地権者で構成された組織であり、昭和〇〇年の結成当初から、区域内の地権者を対象に、より良いまちのあり方についての勉強会の定期的開催やアンケートの実施等を行って来ている。 【本事業の実施に当たっての助言・協力者・業務委託などの体制】 今回の事業は、このまちづくり協議会が主体となり、××市〇〇課及び〇〇大学△△研究室の協力も得ながら、専門コンサルトに調査等を委託して実施する予定である。
	応募団体の活動実績

※関連資料がある場合は、別途郵送下さい。

○計画素案策定地区について

地区名	〇〇地区		
所在地	◇◇県××市〇〇町◆丁目地内		
面積	1.5ha		
当該地区が存する地域の種類・面積 (該当するものに○及びその面積を記入してください。複数の地域に重複して該当する場合は、一方の面積をカッコ書きで記入して下さい。)	・密集市街地	重点密集市街地	○ 1.5ha
		その他	ha
	・中心市街地活性化基本計画区域		ha
	・都市再生緊急整備地域		ha
	・再開発法(2号地区・2項地区)		ha
	・防災再開発促進地区	○	1.5ha
上位計画等における当該地域の位置づけ、方針等	【上位計画の名称】 ××市都市計画マスタープラン (当該地域に関する記載内容) 防災上特に危険な重点密集市街地に指定されている〇〇地区において最低限の安全性を早期に確保する。		
地区の現況・課題 ※当該地域で現在定められている都市計画の内容 ※道路や建物の状況、開発の動向 ※生活環境や防災性等の問題点 ※計画素案を策定しようとする背景、動機等	【当該地域の都市計画の内容】 ※既存の都市計画の内容がわかる資料を添付願います。 ・準住居地域、(建)60%(容)200%、防災再開発促進地区 【当該地域の課題】 ・狭小な敷地が多く、木造建築物が密集している。地区内道路は4m未満のものが多く、公園等の公共空地も皆無であり、基盤整備が殆ど進んでいないことから、建替えができないまま老朽化が進んでいる木造建築物が多い。 地区内住民には高齢者も多いことから、防災面、環境面で大きな課題を抱えている。 ・基盤整備が不十分であることから、開発行為も進んでいない。		

まちづくり計画策定担い手支援事業 応募申請書 (様式2)

○事業内容について

業務委託予定先	△△都市計画コンサルタント			
事業の目的 及び内容 (素案の策定を予定している都市計画の種類、調査の内容等)	<p>【策定しようとする都市計画提案素案の種類と内容】 街並み誘導型地区計画（必ずしも「〇〇型地区計画」という記載は不要です。）</p> <p>（目指すべき地区のイメージやまちづくりの目標） 地区内の狭小な区画道路の拡幅整備と沿道建物の自律的な建替えを一体的に進めることにより、従来からの個性あるまちなみや地域コミュニティを維持しつつ、防災性の向上を図る。（もっと詳しく記載してください。）</p> <p>（想定している制限内容・緩和手法等） 以下の制限を定めることにより、斜線制限の緩和と前面道路幅員による容積率制限を緩和 ・壁面の位置の制限および壁面後退区域における工作物の設置制限 ・建築物の容積率の最高限度 ・建築物の敷地面積の最低限度</p> <p>【素案作成のために行う調査等の内容】 （基礎調査） ・当該地区の土地・建物の権利調査 ・現況測量図の作成 ・地区内地権者等の意向調査</p> <p>（地区診断） ・地区の模型やパース等を活用したまちづくりプランの検討 ・街並み誘導型地区計画を適用した場合の街並みのシミュレーション</p> <p>【地区内における事業実施予定の有無】 （再開発事業、道路整備事業など） 地区西側を通る県道の拡幅が都市計画決定されているが、着手時期は全く未定。</p>			
	必要な経費 (要望額) ※事業が2カ年にわたる場合は2年間に必要な経費の内訳について記載	区分	平成20年 (1年目)	平成21年 (2年目)
基礎調査	事業費	250万円		250万円
	国費	250万円		250万円
地区診断	事業費	300万円	万円	300万円
	国費	300万円	万円	300万円
提案素案作成	事業費		200万円	200万円
	国費		200万円	200万円
計	事業費	550万円	200万円	750万円
	国費	550万円	200万円	750万円
国費以外の資金 の調達方法				
地方公共団体 との事前相談・ 調整状況	【担当部署】××市都市計画課 【担当】開発 進 【連絡先】〇〇〇-△△△-◇◇◇◇			
	<p>H20.4.1 ××市都市計画課に事業応募について説明した。事業内容詳細は別途説明予定。 H20.4.8 応募事業内容が××市の方針や計画等との整合が図られているかについて確認を行った。応募事業内容は、××市都市計画マスタープランに適合し、〇〇地区では、××市が進める密集事業の対象地区外であるため、応募について特段問題ないことを確認。××市としても応募事業をサポートするが、素案検討に向けた会合等には××市も参加するとのこと。</p>			
調査の実施に関する地域への周知・合意状況	【合意済地権者数】約80名 (地区内全地権者数)約100名			
	<p>【周知の状況及び今後の見通し等】 H20.3.15 〇〇町会定例会で、町会長、出席役員全員が事業への応募に合意。 H20.3.30 〇〇町会総会で、出席地権者約50名に対し検討内容を説明し、特段反対意見もなく、概ね賛同を得た。 H20.4.1~7 地区内地権者へパンフレット配布。</p>			

○事業実施により期待される効果

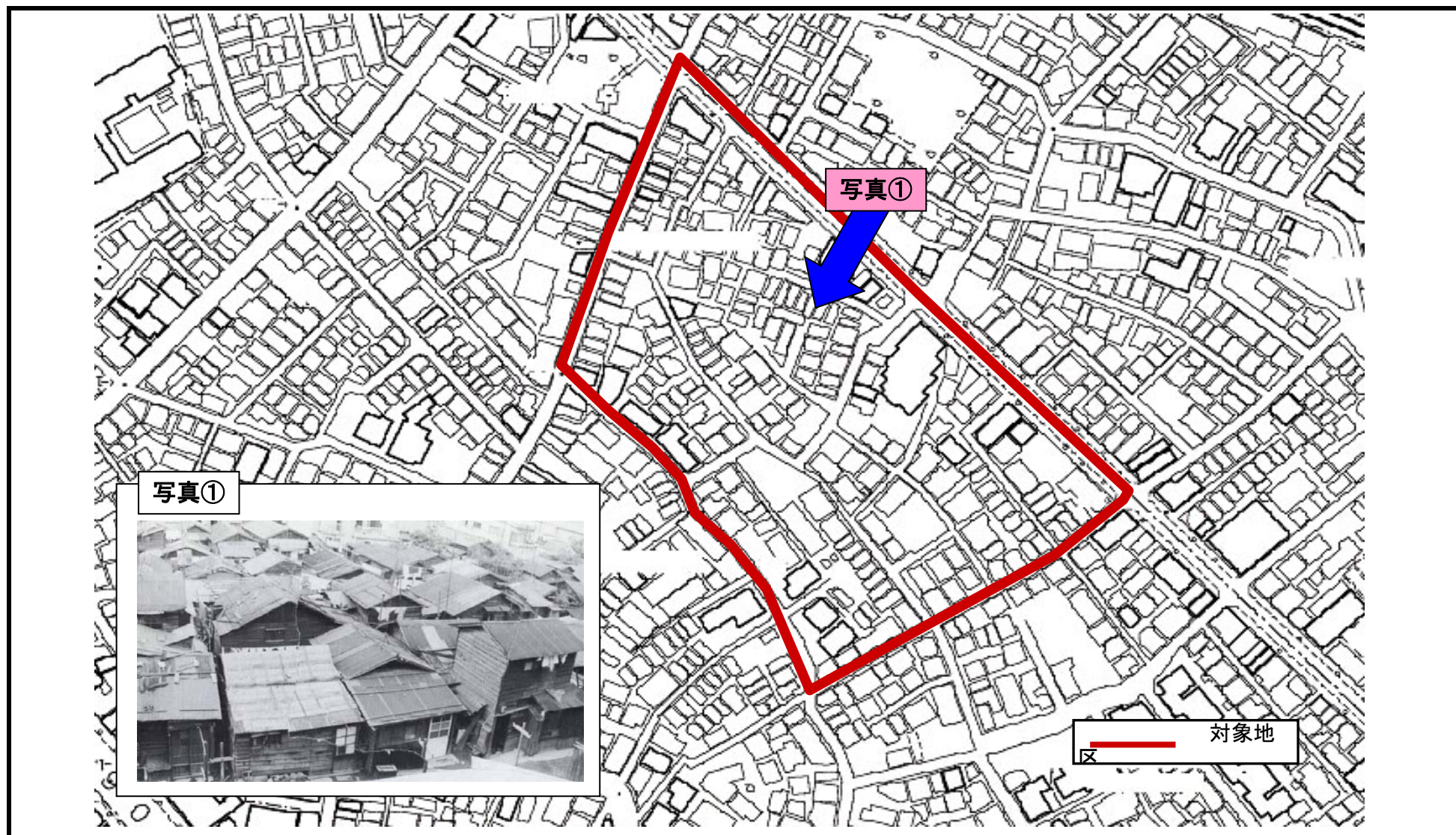
- ・地区内道路等の拡幅など、基盤整備が進む。
- ・建築制限の緩和による誘導効果により、個別建替えが促進される。

まちづくり計画策定担い手支援事業 応募書 (様式3)

検 討 フ ラ ム	
(平成○年) ○○月	<p><記入例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【基礎調査①】</p> <p>○ 現況調査</p> <p><調査項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築規模・年数 ・ 道路、公園など公共施設の整備状況 ... </div>
○○月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【基礎調査②】</p> <p>○ 地区の課題等の分析</p> </div>
○○月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【地区診断】</p> <p>○ 地区の改善案の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街並みのシミュレーション ・ 建築規制の緩和による建替え後の市街地イメージのシミュレーション ... </div>
(平成△年) ○○月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【提案素案の作成】</p> <p>○ 街並み誘導型地区計画の提案素案の作成</p> </div>
○○月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 成果の取りまとめ ○ 完了実績報告書の作成 </div>

※事業が2カ年にわたる場合は、2年間のスケジュールを記載して下さい。

対象地区の現況（写真）・位置図



【対象地区設定の考え方】

上記事業対象地区周辺は重点密集市街地に認定されているが、これまで防災性の向上に向けた取組の経緯がない。また、上記対象地区は、〇〇地区自治会のエリアと一致しているため、地区内地権者等の合意形成を図りやすい地区である。

応募団体等整理表

	項 目	記 入 欄
地区について	地区名	〇〇地区
	所在地	◇◇県××市〇〇町◆丁目地内
応募団体について	応募団体名	〇〇地区まちづくり協議会（任意団体）
	代表者	国交 太郎
	事務局（担当者）	（住 所）◇◇県××市〇〇町◆丁目△番□号 （電 話）〇〇〇-△△△-×××× （担 当）町並 清 （E-mail）・・・・・・・・・・・・・・・・ （ホ-ムペ-ジ）・・・・・・・・・・・・・・・・
推薦市区町村について※	推薦市区町村名	××市
	所属・担当者名	都市計画課 開発 進
	連絡先（電話番号）	〇〇〇-△△△-◇◇◇◇
	（E-mail）	・・・・・・・・・・・・・・・・

※推薦市区町村については、推薦がある場合のみ記入してください。
 推薦が得られていなくても応募は可能です。応募内容については、国土交通省から市区町村に対して意見を聴くこととしています。